
Cube box*

栖里 嘉一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

C u b e b o x *

【Nコード】

N 4 7 5 0 Y

【作者名】

栖里 嘉一

【あらすじ】

美しい世界——そこから出て生きるといふこと。

大丈夫。しかくい箱が私を守ってくれる。
ここまでくれば大丈夫。

まゆこは何度も口の中で繰り返した。

ここから出たくなんてない。

私を守るのはこの白い箱だけ。

ここから出たら私を守るものなんてない。

部屋の片隅で丸くなっている物体。

まゆこは身を守るようにきゅっと体を縮めた。

俯いた顔をあげることがなかった。

わかつている。本当は。

ここにいちゃいけないということ。

曇りのない面に囲まれて

何も考えずに生きていくことなんて許されない。

——もう少し。もう少しだけ。

煩雑な外の世界。

端のない殻。捕まえることはできない。

常にそばにいて見張っているのに

私を守ってはくれない。

床と壁と天井と、区別のつかない部屋。
その形状は美しくまゆこの心を慰めた。

一步を踏み出す勇気を。
前を向くことからはじめなくては。
この箱を、開くのは私。

重い扉。かけた手が思うように動かない。
部屋が呼んでいるのがまゆこには聞こえた。

かえっておいで
いつでもこはまっている

あまいざれごととすてきなゆめをよういして

まゆこはただ、白い壁を見つめていた。

ややあつてから、ゆっくりとかぶりを振った。

さあ行こう。

逃げてくればいいんだ。

傷つけられても。

さあ行こう。

見つかるかもしれない。

この箱より美しく、私の心を揺さぶるものが。

——生きるのに必要なのは、夢と、希望か。

さあ進もう。

私は私でなくなるかもしれない。

悲しいけれど。

さあ進もう。

忘れてしまえばいいんだ。

この箱より美しく生きることなんてできないのだから。

まゆこには分かっていた。

——生きるのに必要なのは、諦めと、絶望だ。

もう確かめることはできないけれど

私が変わってしまったとしても

私が故意に忘れたとしても

私が、消えたとしても

世界が醜く歪んでも

その箱は美しくあり続け

私の存在などものともせずに

また、誰かを慰めていくのだろう。

（後書き）

お読みいただきありがとうございました。

作者は空箱とかについ惹かれて集めてしまっことが多いです——どうでもいいですが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4750y/>

Cube box*

2011年11月17日18時04分発行